

神の奥義② ～礼拝者として生きる～

1 神が人に望まれていること

礼拝者こそ神のデザインした人の本来の姿。神の要求が満ちている姿。

神が人に求めていることとは？

「人よ。何が良いことなのか。主はあなたに何を求めておられるのか。それは、ただ公義を行い、誠実を愛し、謙ってあなたの神とともに歩むことではないか。」ミカ書6：8

●公義 **מִשְׁפָּט** ミシュパット

●誠実 **אֱמֻנָה** ヘセド

2 礼拝とは

あなた方の体を、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物として捧げなさい。それこそ、あなた方の霊的な礼拝です。ローマ12：1

●礼拝 **שָׁחָה** シャハー ひざまづく、ひれ伏す、降伏する
神様の御心のために自分自身を捧げる。自分の権利を明け渡す。

履き物を脱ぐ→権利を明け渡す

エリコを前にヨシュアが主の軍の将に出会う場面。

ルツを買い取るボアズ

3、友のように羊飼いのように

「人がその友のため命を捨てるという、これよりも大きな愛は誰も持っていません。私があなた方に命じることをあなた方が行うなら、あなた方は私の友です。」ヨハネ15：13～14

「主は、人が自分の友と語るように、顔と顔とを合わせてモーセに語られた。」

出エジプト記33：11

●友 **רֵעַ** レア 語根は **רָעָה** ラアーといい、羊飼いという意味があります。

「私は良い牧者です。良い牧者は羊のために命を捨てます。」ヨハネ10：11

●顔（臨在） **פָּנִים** パニーム 語根は **פָּנָה** パナーといって、立ち返る、心に移すという意味があります。顔と顔とを合わせるとは、その心が一つとなっている状態です。心が定まり合っているとでも言えるでしょう。

主はその御目を持って、あまねく全地を見渡し、その心がご自分と全く一つになっている人々に御力を表してくださるのです。2歴代誌16：9

皆さんが御言葉の約束の実現の器として礼拝者として主の栄光を輝かせ用いられますように！